

北海道大学スラブ研究センター 国際シンポジウム

「同盟と境界：地域大国を規定するもの」の開催について（お知らせ）

概要：

スラブ研究センターでは、新学術領域研究との共催で、ユーラシア地域の冷戦の歴史をテーマとする国際シンポジウム「同盟と境界：地域大国を規定するもの」を開催します。新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」とは、ロシア、中国、インドを代表とするユーラシアの地域大国を、米国一極秩序やEU主導の国際秩序への挑戦者の立場に立つ国々として定義することにより、世界を理解する上での新たな視座の確立を目指す大型プロジェクトです。国際関係を担当とする第1班が主催する今回の国際シンポジウムでは、冷戦期のユーラシア国際関係をテーマとして、国内外の著名な冷戦史研究者を招いて開かれます。

◆国際シンポジウム「同盟と境界：地域大国を規定するもの」

- ◇日時：2011年7月7日（木） - 8日（金）
- ◇場所：北海道大学スラブ研究センター4階大会議室（403号室）
- ◇主催：北海道大学スラブ研究センター、新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」
- ◇申込：無料／リンク先のプログラムにある登録フォームにご入力いただくか、事務局のメールアドレスへご連絡ください。
- ◇使用言語：英語（通訳なし）
- ◇対象：研究者・大学生・一般
- ◇プログラム

7月7日（木）9：30～18：00

- ・セッション1 開き始めたドア：日本からの新たなアーカイヴ
- ・セッション2 「ハブとスポーク」を考える：韓国、台湾、ANZUSの場合
- ・セッション3 中国の国境

7月8日（金）10：00～18：00

- ・セッション4 ラウンドテーブル「アーカイヴとアーカイヴ・プロジェクト」
- ・セッション5 中印国境紛争：公開された証拠
- ・最終討論セッション

※詳細については以下のページをご覧ください。

<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/sympo/11summer/2011summer-j.html>

お問い合わせ先

北海道大学スラブ研究センター・新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」事務局
E-mail : rp@slav.hokudai.ac.jp TEL : 011-706-4809